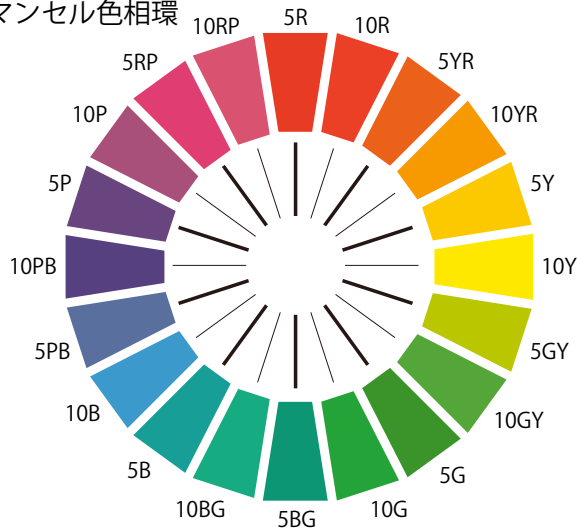




色相環

しきそうかん

マンセル色相環



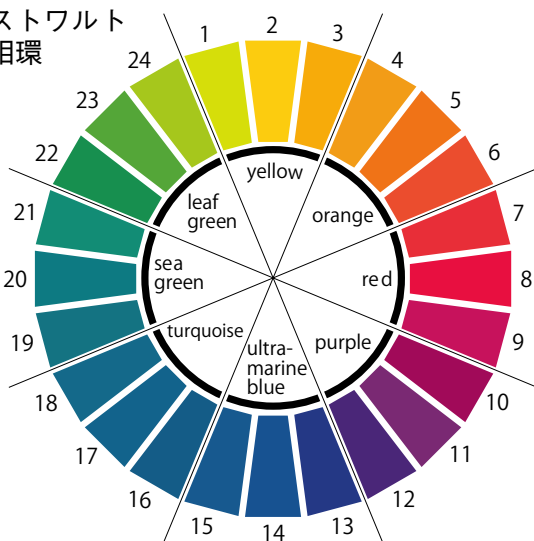
概要

色相環 (hue circle) とは、色相を環状に配置したもので、色を体系化する時に用いる方法の一つです。色は光の波長の違いによって、赤・橙・黄・緑・青・紫というように連続的に変化して知覚されます。これを連続的に配列し円環状にしたものを、色相環といいます。

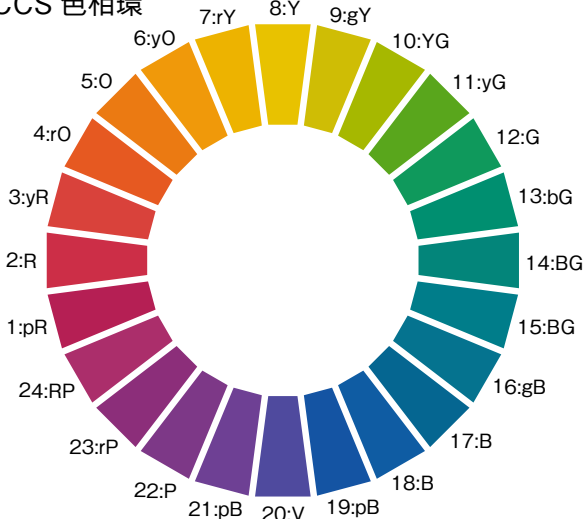
色を正確に伝えるためには、規則的な色の表記方法が必要になります。この色の表示体系をカラー・オーダー・システム (表色系) といい、色相環や色立体によってあらわすことができます。現在よく知られているものには、マンセル表色系、オストワルト表色系、PCCS (日本色研配色体系) など数種類があります。マンセル表色系は、基本5色相 (赤・黄・緑・青・紫) の中間色相 (黄赤・黄緑・青緑・青紫・赤紫) を加えた10色相からなります。また、オストワルトの色相環は、基本8色相 (黄・橙・赤・紫・青・青緑・緑・黄緑) をさらに各色相を三つに分けた24色相からなります。オストワルトの色相環で相対する位置にある二色は補色の関係にあり、補色どうしは混ぜ合わせると無彩色になります。

※掲載している図版は色彩の関係を示した概念図であり、各色彩を厳密に再現したものではありません。また、閲覧環境により色彩が異なって見える場合があります。

オストワルト色相環



PCCS 色相環



※掲載している図版は色彩の関係を示した概念図であり、各色彩を厳密に再現したものではありません。また、閲覧環境により色彩が異なって見える場合があります。